

単元名 わたしたちのくらしと農業  
「わたしたちの町の野菜農家を調べよう」

うど -東京都-



地場産物の説明

うどは、江戸時代から作られてきた高級野菜で、今では全国一の生産量をあげている。中でも小平は都内有数のうどの生産地である。調理のアイデアしだいで、ヘルシーな春の味と香りが存分に楽しめる食材である。

青梅街道や五日市街道に沿って新田開発が行われた小平では、東西に走る街道に対して直角に、南北に細長い地割りが大きな特徴となっており、「短冊型農地」とか、「短冊状農地」と呼ばれている。宅地化の進んだ現在でも、このような土地の形が色濃く残っている。

小平のうどは、5月下旬に畑に植え付ける。成長を続け秋に花が咲き、霜が降りると自然に枯れる。すると土の中でうどの根株が成長していて、芽が付き、トラクターで根株を掘りあげ、芽の剪定をおこない、穴に入れて出荷の準備をし、水をあたえ、およそ20℃位になるように室温を上げる。出荷時期は12月上旬から9月下旬である。

献立例

煮込みうどん、牛乳、うどのかき揚げ、竹輪の天ぷら、みかん

1人当たりの栄養量 (小学校)

エネルギー	636kcal
たんぱく質	26.6g
脂質	20.5g
カルシウム	331mg
鉄	2.5mg
ビタミンA	321μgRE
ビタミンB <sub>1</sub>	0.30mg
ビタミンB <sub>2</sub>	0.38mg
ビタミンC	30mg
食物繊維	5.2g
食塩	3.4g
マグネシウム	82mg
亜鉛	2.1mg



給食の時間の指導 (感謝の心・食文化)

みなさんは東京にも名産の野菜があることを知っていますか。今日の給食の「かきあげ」で使われているうどは、小平でとれたとても香りのよい野菜です。うどは昔からの方法でつくります。それは地下3～4メートルのムロと呼ばれる穴蔵のなかで栽培する方法です。うどは新鮮さが重要な野菜なので、収穫しすぐに食べられる小平の子は幸せです。東京は関東ローム層という赤土のため穴蔵を掘るのに最適ですが、穴蔵の中では腰をかがめての厳しい作業のため、生産農家もだんだん少なくなっています。うどは腸の掃除をしてくれる食物せんいがとても多い野菜です。小平でとれた季節を感じることでできる貴重な野菜です。うどでたくさん春を感じましょう。

## 小学校 第3学年 社会科学習指導（略）案

日 時 平成21年 月 日 第 校時  
 対 象 3年 組 名  
 指導者 担任 (T1) 栄養教諭等 (T2)

## 1 単元名 わたしたちの暮らしと農業 ～わたしたちの町の野菜農家を調べよう～

## 2 単元の目標

- (1) 見学などを通して地域の生産に携っている人々の工夫や特色、自分たちの生活を支えていることを理解することができる。
- (2) 地域における生産や販売の様子を観察、調査し、地図などの具体的資料を効果的に活用し、調べたことをマップやポスター、絵本などで表現するとともに、自分との関わりを考え、地域社会の一員としての自覚をもつことができる。

## 3 本時（7/13時）

## (1) 本時の目標

- 地域には特産物を作る農家があり、それを生産している人々の工夫や努力及び国内の他地域との関わりや地域の特色を理解できる。
- 私たちの地域にも野菜を育てている農家があることを知る。

## 〈食育の視点〉

食べ物を大切にしようとする気持ちや食べ物を育てている人たちへの感謝の気持ちをもつ。（感謝の心）

## (2) 学習過程

	主な活動と内容	教師の支援	留意点・〈評価〉・資料
つかむ (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野菜マップを見ながら具体的にどの辺に畑があったかを話し合う。</li> <li>○ 自分の知っている地域の畑や栽培されていた野菜について発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作成した野菜マップで自分たちの町にある畑を確認させる。(T1)</li> <li>・ 町内の畑で作られている野菜を確認し、マップに加えていく。</li> </ul>	<p>〈地域の畑を思い起こすことができたか〉</p> <p><input type="checkbox"/> 野菜マップ</p>
調べる (30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マップを見ながら、うどの生産地農家が多いことを知る。</li> <li>○ うどの生産農家について調べる。</li> <li>○ 畑を見た時のことを思い出しながら、野菜を育てる上での苦勞を考える。</li> <li>○ 畑で農家の人から話を聞くための質問を考える。</li> <li>○ 農家の人話を聞くときの態度などを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マップを活用し、東京都内でうどの生産量が多いことを知らせ、小平市の主要産物であることを知らせる。(T1)</li> <li>・ うどのほかに、小平市で作られたものが、学校給食でどのくらい使われているかを知らせる。(T2)</li> <li>・ 野菜の育て方などを紹介し、農家の大変さに気付くようにする。</li> <li>・ 自分が知りたいことやわからないことを進んで質問できるように、働きかける。</li> </ul>	<p>〈小平市はうどの生産に力を入れていることに気付くことができたか。〉</p> <p>〈身近な人のおかげで、私たちはおいしい給食が食べられることに感謝の気持ちをもつことができたか。〉</p> <p><input type="checkbox"/> 給食の献立表</p> <p>〈農家の人の努力を知ろうとする意欲がもてたか。〉</p>
まとめ (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気付いたこと分かったことを振り返り、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農家の人への感謝の気持ちを忘れないように、質問事項を発表させる。</li> <li>・ 次時の学習内容を知らせる。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 自分が知りたいことやわからないことを進んで質問できるように、働きかける。</p>

## (3) 評価

私たちの地域にも野菜を育てている農家があることがわかり、食べ物を生産している人々の工夫や努力、地域の特色を理解できたか。